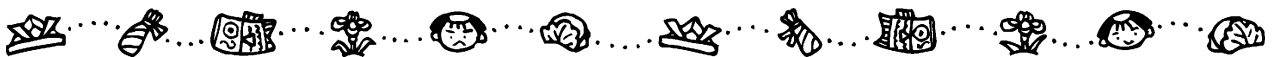




2021年5月 尚徳福祉会 末長こぐま保育園

朝の挨拶もできないくらいに緊張していた子どもも、時折思い出しては『ママがいい…』と泣いていた子どもも、『先生、おはよう!』と、可愛らしい笑顔でお部屋に入ってきてくれるようになりました。進級の喜びはまだ続いている、『うさぎ組は赤ちゃんだから…』とか『そう組になったから、なんでも自分でできる!』と、はりきって過ごさせています。

5月には、野菜の栽培を始めたり、なるべくお散歩に出かけたりと、自然を感じながら元気に過ごせるようにしていきたいと思います。



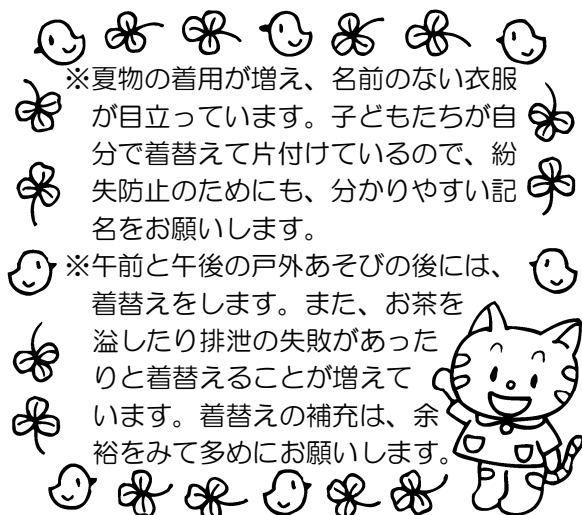
生活の様子

『自分でできることを増やそう!』と、色帽子をクルクル、靴をパンパンして片付けられるかな?と、投げかけてみました。入室の時には、『クルクル…』『パンパン!』と唱えながら取り組んでいます。そして、お茶も自分で入れたいと、意欲を持ち始めました。大量に溢して大騒ぎになることもありますが、失敗から学べるようにと、自分で拭けば大丈夫♡と励ましながら練習しています。

あそびの様子

そう組になると、一人ずつにお道具箱があります。その中にある粘土に夢中になっています。形を作るといよりも、まだ感触を楽しんでいる段階ですが、『自分の粘土』が嬉しいようです。

偶然にできた形を『ドーナツができた!?』と、見立てています。それを聞いたお友だちが、真似をして作り始めると『🍌いらっしゃいませ!』と、お店屋さんがオープンすることもあります。



※夏物の着用が増え、名前のない衣服が目立っています。子どもたちが自分で着替えて片付けているので、紛失防止のためにも、分かりやすい記名をお願いします。

※午前と午後の戸外あそびの後には、着替えをします。また、お茶を溢したり排泄の失敗があったりと着替えることが増えています。着替えの補充は、余裕をみて多めにお願いします。